

# 第 38 回

日本医師会医療秘書認定試験結果

分析評価報告書

(実施 平成30年2月4日)

日本医師会医療秘書認定試験委員会



# 日本医師会医療秘書認定試験委員会委員

◎富田 雄二 宮崎県医師会副会長

板橋 隆三 宮城県医師会常任理事

大西 淳夫 前滋賀県医師会理事

佐々木勝彌 山梨県医師会理事

樋口 俊寛 愛知県医師会理事

平賀 聖悟 前静岡県医師会理事

◎委員長

## 分析・評価

I. 緒 論	.....	2
II. 科目別正解率	.....	2
III. 各回の比較	.....	3
IV. 総 括	.....	3

## 付表

表1 科目別正解率	.....	5
表2 各回の比較	.....	6

## 第38回 日本医師会医療秘書認定試験結果 分析・評価

第38回日本医師会医療秘書認定試験は、11県医師会(13校)、336名の受験生が参加して、平成30年2月4日に各県医師会において実施され、以下の成績を得たので報告する。

### I. 緒論

- 1) 第38回認定試験は、前回に引き続き、「健康とは、疾病とは」の1教科のみ旧コースと新コースの選択制で実施した。受験者数は、11県医師会336名(旧コース20名、新コース316名)であった。
- 2) 受験者数336名中、合格者は312名、合格率は92.9%であった(旧コース受験者数20名中、合格者18名、合格率90.0%。新コース受験者数316名中、合格者294名、合格率93.0%)。
- 3) 個人別取得点(100点満点)の最高は旧コース81点、新コース93点、最低は旧コース47点、新コース39点であった。
- 4) 平均点は66.5点であった(旧コース66.7点、新コース66.4点)。

### II. 科目別正解率

科目別正解率は表1の通りとなり、正解率の高かったものは、薬の知識(81.1%)、医療秘書実務(78.5%)、医療秘書概論(75.5%)、医療関係法規概論(74.9%)等であり、低かったものは、臨床検査(53.8%)、からだの構造と機能(58.0%)、医療にかかわる用語(58.8%)、医療情報処理学(59.2%)であった。

また、医療・保健・福祉基礎教科と医療秘書専門教科に区分すると、医療・保健・福祉基礎教科(58点満点)は64.7%、医療秘書専門教科(42点満点)は

68.9%であった。

### Ⅲ. 各回の比較

平均点、標準偏差および変動係数を過去の試験結果と比較すると表2の通りであった。

### Ⅳ. 総括

- 1) 出題問題については、受験者及び各県医師会からの疑義はなく、適切な問題であった。
- 2) 問題の適否については、正解率と識別指数を勘案し、慎重に審議した。
- 3) 合否については、慎重に審議して決定した。合格率は92.9%であった。
- 4) 各県医師会の合格率については、100%が宮城県、岡山県、広島県、90%台が福井県、山梨県、静岡県、愛知県、宮崎県であった。
- 5) 正解率においては、昨年度と比較して「薬の知識」、「医療保険事務」、「医療関係法規概論」が改善した。一方、「医療情報処理学」、「コミュニケーション論」はかなり低下した。また、「からだの構造と機能」は改善したが、更なる努力が求められる。
- 6) 今後、電子カルテ及びORCA(日医標準レセプトソフト)の普及に伴い、それに対応できる医療秘書を養成していくことが必要である。
- 7) 医療秘書は、医療現場においてチーム医療の一員としての役割が求められるとともに、現在進められている「働き方改革」において医師の勤務環境改善に果たす意義が大きく期待される。今回の試験において、「医療秘書概論」、「医療秘書実務」などの科目において引き続き成績が良好であったことは評価に値するものである。一方で、正解率の低かった「医療にかかわる用語」や「医療情報処理学」は、現場において即座に必要とされる分野であり、また教科書改訂において新たに加えられた「コミュニケーション論」についても、今後の勉学の継続が求められる。

8) 各学院において有能な医療秘書が養成されている状況が見られる。学院数はここ数年で3校増え、更に平成30年4月より1校増える予定である。また、学院の種別として最近は4年制大学が加わるなど、養成の幅も広がっている。平成30年度の診療報酬改定において「医師事務作業補助体制加算」が引き上げられることとなったことは喜ばしいが、点数は未だ十分ではなく、また今後は診療所を含めた対象施設の拡大が強く望まれる。

「日本医師会認定医療秘書」は、充実したカリキュラムを課して養成しており質が確保されていることから、これを医療秘書養成の基準とするべきである。今後更に「日本医師会医療秘書認定試験」の認知度を高め、診療報酬算定要件に本認定試験を位置づけるなどの方策も引き続き求めたい。

表 1 科目別正解率

(%)

科目	正解率	前回正解率	前回との差
健康とは、疾病とは	67.4	62.9	△4.5
患者論（患者論と医の倫理）	72.0	76.8	▼4.8
医の倫理（患者論と医の倫理）	71.0	80.0	▼9.0
からだの構造と機能	58.0	51.9	△6.1
臨床検査（臨床検査と薬の知識）	53.8	56.3	▼2.5
薬の知識（臨床検査と薬の知識）	81.1	70.0	△11.0
医療にかかわる用語	58.8	60.6	▼1.8
コミュニケーション論	67.3	83.7	▼16.4
<b>医療・保健・福祉基礎教科合計</b>	<b>64.7</b>	<b>65.1</b>	<b>▼0.4</b>
医療秘書概論	75.5	84.9	▼9.4
医療秘書実務	78.5	80.8	▼2.3
医療情報処理学	59.2	76.6	▼17.4
医療関係法規概論	74.9	67.7	△7.2
医療保険事務	61.5	51.4	△10.1
<b>医療秘書専門教科合計</b>	<b>68.9</b>	<b>70.5</b>	<b>▼1.6</b>

表2 各回の比較

	医学基礎教科(50点満点)			秘書専門教科(50点満点)			合計(100点満点)			合格率 (%)
	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	
第1回	35.9	±5.4	15.0	40.0	±4.2	10.5	75.9	±8.6	11.4	97.3
第3回	33.2	±6.0	18.2	34.3	±4.6	13.5	67.5	±9.8	14.5	80.1
第5回	32.6	±6.8	20.9	35.8	±5.5	15.4	68.4	±11.4	16.6	81.3
第6回	31.5	±7.6	24.0	38.6	±5.6	14.5	70.1	±12.3	17.6	80.8
第7回	33.2	±7.4	22.4	32.5	±6.5	20.0	65.7	±13.0	19.8	73.6
第8回	32.8	±6.7	20.6	36.1	±5.3	14.7	68.9	±10.7	15.6	86.1
第9回	31.7	±7.1	22.4	32.9	±6.6	20.0	64.5	±12.8	19.8	81.3
第10回	29.5	±8.0	27.0	33.4	±6.6	19.7	62.9	±13.7	21.7	80.0
第11回	30.5	±7.8	25.5	33.0	±6.4	19.5	63.5	±13.5	21.3	82.3
第12回	32.2	±7.3	22.7	33.3	±7.0	21.0	65.4	±13.6	20.8	82.5
第13回	31.5	±6.9	22.0	32.5	±6.8	21.0	64.0	±13.0	20.4	80.3
第14回	30.9	±6.4	20.7	32.1	±6.2	19.3	63.0	±11.7	18.6	84.3
第15回	30.7	±6.4	21.0	33.3	±6.7	20.1	64.0	±12.3	19.2	83.4
第16回	28.9	±6.5	22.5	29.8	±5.4	18.1	58.7	±11.1	18.9	78.2
第17回	30.4	±6.5	21.4	31.5	±6.0	19.0	61.9	±11.5	18.6	79.7
第18回	33.6	±6.6	19.6	34.8	±5.4	15.5	68.4	±11.0	16.1	85.1
第19回	32.9	±6.7	20.4	33.6	±5.4	16.1	66.5	±11.2	16.8	85.9
第20回	34.3	±6.2	18.2	33.3	±5.6	16.9	67.5	±11.0	16.3	87.6
第21回	36.1	±5.6	15.4	36.0	±5.0	13.9	72.1	±9.6	13.3	93.9
第22回	32.1	±6.5	20.2	32.5	±5.7	17.7	64.6	±11.3	17.5	79.2
第23回	34.2	±6.6	19.2	32.8	±5.9	17.8	67.0	±11.6	17.3	88.2
第24回	35.1	±5.0	14.2	35.6	±5.0	14.1	70.7	±9.2	13.1	94.2
第25回	32.1	±6.2	19.3	33.5	±4.7	13.9	65.6	±10.0	15.2	89.4
第26回	35.3	±5.9	16.6	34.5	±4.6	13.3	69.8	±9.5	13.6	92.0
第27回	34.5	±5.8	16.9	33.7	±4.7	14.0	68.3	±9.6	14.0	91.5
第28回	34.9	±5.3	15.2	34.5	±5.0	14.5	69.5	±9.4	13.5	94.0
第29回	37.0	±5.1	13.7	34.6	±5.2	15.1	71.6	±9.4	13.1	90.6
第30回	36.3	±6.3	17.3	32.8	±5.1	15.7	69.1	±10.5	15.1	89.9
第31回	37.2	±4.9	13.1	35.5	±4.8	13.4	72.7	±8.8	12.1	96.5
第32回	37.1	±5.3	14.2	34.2	±5.0	14.5	71.3	±9.4	13.1	94.1
第33回	33.4	±5.3	15.9	37.0	±4.7	12.8	70.4	±9.3	13.2	94.4
第34回	32.3	±4.6	14.3	37.7	±4.7	12.5	70.0	±8.2	11.8	94.4
第35回旧	38.2	±5.5	14.4	39.2	±5.2	13.3	77.4	±9.8	12.7	97.2
第36回旧	41.1	±4.5	10.9	42.0	±3.8	9.1	83.1	±7.4	8.9	100.0



	医療・保健・福祉基礎教科 (58点満点)			医療秘書専門教科 (42点満点)			合 計 (100点満点)			合格率 (%)
	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準 偏差	変動係数 (%)	
第35回新	38.3	±6.0	15.8	31.6	±4.9	15.4	69.8	±10.2	14.7	93.3
第36回新	38.0	±6.0	15.7	26.7	±4.2	15.9	64.7	±9.4	14.5	90.9
第37回*	37.7	±5.8	15.5	29.6	±4.5	15.0	67.3	±9.2	13.7	92.7
第38回*	37.5	±5.9	15.6	28.9	±4.4	15.2	66.5	±9.4	14.2	92.9

※第2回・第4回は、年2回実施していたため受験者が少なく比較から除く。

※平成26年4月の要綱改訂に伴い、第35回・第36回は新旧要綱対応別に試験を実施。

なお、新要綱対応は、「医療・保健・福祉基礎教科」58点満点、「医療秘書専門教科」42点満点とし、第37回からは新要綱対応のみ実施。

※第37回・第38回は、一部の設問は新・旧テキストからの選択制。